

## 第12回傷害予防教育セミナー

わが国では、「不慮の事故」は、最近では、0歳を除いた小児の死因の第2位となっており、事故による傷害の予防は重要な保健活動のひとつです。WHO（世界保健機関）は、「見守り」「監視」だけでは子どもの傷害は予防できないと明言しており、効果のある傷害予防のためには環境改善や人的サポートを含めた総合的な予防が不可欠です。

海外では、データに基づいた傷害予防やその効果評価が進められ、大きな成果を上げている事例が報告されていますが、我が国では、令和5（2023）年に日本学術会議の見解でも指摘されているとおり、データに基づいた科学的なアプローチに大きな課題があります。

本会では、傷害予防を科学的に進める方法、最新の予防トピック、また最近作成された新しい予防コンテンツを紹介するセミナーを開催しております。本年も、学術集会の開催に合わせて開催いたします。2023年に日本学術会議から発出された見解「こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用」や、2019年に出版された傷害予防の書籍（『保育・教育施設における事故予防の実践』（<https://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5854/>））の内容も活用し、実践的な予防法について考えていきます。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 小枝 達也  
同 傷害予防教育委員会 委員長 西田 佳史

日 時：令和6（2024）6/23（日）9：00～11：00（第71回日本小児保健協会学術集會会期中）

会 場：グランドメルキュール札幌大通公園（旧ロイトン札幌）（北海道札幌市）

第71回日本小児保健協会学術集會会場 第3会場 2階リージェント

開催方法：現地開催（第71回日本小児保健協会学術集會のプログラムとして開催）

※本セミナーのオンデマンド配信はございません。

主 催：公益社団法人 日本小児保健協会 傷害予防教育委員会

参加費：無料（ただし、学術集會への参加登録が必要です）

参加方法：学術集會プログラムとして開催しますので、学術集會ホームページでの「参加登録」ご登録時に、本セミナー参加希望欄に☑をしてお申し込みください。なお、学術集會に参加登録をされた方は、当日にご参加いただくことも可能です。

### 《プログラム》

9:00～9:15（15分） こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用

緑園こどもクリニック 院長 山中 龍宏

9:15～9:30（15分） 最近の子どもの傷害事例とその対策

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 救急センター副看護師長 林 幸子

9:30～9:45（15分） 海外の先進事例に学ぶ科学的な傷害予防の実践

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北村 光司

（15分休憩）

10:00～11:00（60分） 最新教材紹介とそれを活用した傷害予防ワークショップ・交流会

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 大野美喜子

【本セミナーでの参考資料】 ※購入は必須ではありません。

「保育・教育施設における事故予防の実践 事故データベースを活かした環境改善」（中央法規出版）

### 【問い合わせ先】

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

TEL：03-3868-3093 FAX：03-3868-3092 URL：<http://www.jschild.or.jp/>

研修会に関する問い合わせ E-mail：[jschseminar-tantou@umin.ac.jp](mailto:jschseminar-tantou@umin.ac.jp)